**INSPIRE-Jの得点算出手順**

**～はじめに～**

ここでご紹介するINSPIRE（精神保健サービスのパーソナルリカバリー志向性評価尺度）の日本語版は、

・短縮版INSPIRE-J、支援者からのパーソナルリカバリー支援を自記式で評価する5項目の尺度

（すなわち、Patient-Rated Experience Measure (PREM)（患者が経験を評価する尺度））と、

・INSPIRE-J、支援者からのパーソナルリカバリー支援を自記式で評価する27項目の尺度

（すなわち、Patient-Rated Experience Measure (PREM)（患者が経験を評価する尺度））の2種類があります。

短縮版INSPIRE-JとINSPIRE-Jは、<http://plaza.umin.ac.jp/heart/archives/inspire.shtml>からダウンロードできます。

**～INSPIRE-Jの得点を算出する手順～**

INSPIRE-Jは、サポート（支援） と 関係性 の2つのサブスケール（下位尺度）で構成され、別々に得点を算出します。

それぞれ、0（リカバリー志向性の低い支援）～100（リカバリー志向性の高い支援）の得点範囲があります。

|  |  |
| --- | --- |
| サポート(支援)サブスケールの得点算出 | 関係性サブスケールの得点算出 |
| サポート（支援）サブスケールは、すべての質問に答えていない場合でも得点を算出することができます。もし20の質問のすべてに「大切でない」（もしくは無回答）と回答した場合は、サポート（支援）サブスケールの得点を算出することはできません。サポート（支援）サブスケールは、サポートの量（「そう感じない」～「そう感じる」）を評価する質問によって算出します。各回答をそれぞれ点数化し、合計します。そう感じない 0あまりそう感じない 1どちらでもない 2ややそう感じる 3そう感じる 4次に、この合計をサポートの量を評価した質問の数で割り、25を掛けます。例20の質問のうち、10の質問に対してサポートの量を評価しており、1つは「あまりそう感じない」、８つは「どちらでもない」、そして1つは「ややそう感じる」を回答している。この場合のサポート（支援）サブスケールの得点は、(((1×1)+(8×2)+(1×3))/10)×25=50　です。 | 関係性サブスケールの算出には、7つの質問すべてに回答している必要があります。各回答をそれぞれ点数化し、合計します。そう思わない　0あまりそう思わない 1どちらでもない 2ややそう思う 3そう思う 4次に、この合計に3.571を掛けます。例7つの質問をそれぞれ点数化した合計が14の場合、関係性サブスケールの得点は、14×3.571=50　です。 |

※回答エラーの修正について

INSPIRE-Jのサポート（支援）項目の回答に、以下のような矛盾が生じた場合、３つの修正方法があります。

（手元にデータしかなく、回答者になぜそう回答したのか尋ねることができないとき）

１．「大切である」と「大切でない」のどちらも選択せず、「そう感じない」～「そう感じる」に〇をつけている場合。

―「大切である」と回答したとみなし、〇をつけた「そう感じない」～「そう感じる」を回答として採用します。

２．「大切でない」に〇がつき、「そう感じない」～「そう感じる」にも〇がついている場合。

―「そう感じない」～「そう感じる」の〇を削除し、「大切でない」を回答として採用します。

３．「大切である」に〇をつけているが、「そう感じない」～「そう感じる」に〇を付つけていない場合。

―「大切である」から「大切でない」に回答を変更します。

© 2019 Mike Slade　詳細な情報は、 researchintorecovery.com/inspireから入手できます。

INSPIRE-Jの信頼性・妥当性を検証した書誌情報は下記のとおりです、引用時にお使いください。

Kotake, R., Kanehara, A., Miyamoto, Y., Kumakura, Y., Sawada, U., Takano, A., Chiba, R., Ogawa, M., Kondo, S., Kasai, K., Kawakami, N. Reliability and validity of the Japanese version of the INSPIRE measure of staff support for personal recovery in community mental health service users in Japan. BMC Psychiatry 20, 51 (2020). <https://doi.org/10.1186/s12888-020-2467-y>